

農地中間管理事業評価委員会の意見について

1 開催日時及び場所

日時：令和7年6月16日(月) 13:30~15:30

場所：(公財)三重県農林水産支援センター会議室

2 評価委員の氏名等

所属・役職	氏名
【出席】	
東員町農業再生協議会 会長	伊藤 良子
三重県中央農業改良普及センター 所長	清水 秀巳
国立大学法人三重大学大学院 生物資源学研究科 准教授	長屋 祐一
三重県土地改良事業団体連合会 専務理事	藤本 隆治
三重県稲作経営者会議 会長	前川 和彦
【欠席】	
税理法人アクア 代表社員税理士・農業経営アドバイザー	濱口 勝志

※五十音順

3 議事事項

- ・令和6年度事業実施状況と今後の対応について（報告）
- ・報告に対する意見及び評価

4 評価委員会の意見等

(1) 令和6年度事業の実績について

令和6年度の農地中間管理事業による農地の借受・貸付面積について、令和5年度の目標値700haを上回る1,700haを目標値とした。

実績は、1,021.7haと目標値の60.1%達成にとどまったものの、事業開始以降初めて1,000haを超えたことに対して評価したい。

今後は、目標達成はもとより、年々数値が上がっていく様に取り組んでほしい。

(2) 今後の推進に向けて

- ① 法改正により農地の貸借が農地中間管理事業中心となることから、今後の目標設定について、利用権設定等促進事業からの切り替え等を考慮した目標値を検討してほしい。
- ② 農地中間管理事業がさらに活用され、農地の集積・集約化につなげていくためには基盤整備が重要であるが、農地中間管理機構には積極的な関与が期待される。一方で、手続き面に目を向けると、出し手の高齢化に伴う契約期間の短縮や相続人との認識のずれなど、受け手が苦勞する状況が顕在化してきており、このようなことにも農地中間管理機構には積極的な関与が期待される。そのためにも、基盤整備関連部門や県・市町・JA等との連携を一層深めて取り組んでほしい。
- ③ みえ農業ビジネスプランコンテストは非常に良い取り組みであり、評価できる。今後とも、継続して取り組んでほしい。